

平成18年度第1回岡山市総合政策審議会 都市・交通部会の主な意見

- 1 日 時 平成18年8月9日(水) 14:04～16:09
- 2 場 所 岡山市役所本庁舎3階第3会議室
- 3 参加者 委員15名中14名出席
岡山市：村手助役、小林都市整備局長、今岡都市整備局副局長
周藤審議監(都市開発担当)、東審議監(公園緑化担当)
平林審議監(土木担当)、山内審議監(都市建築担当)ほか
事務局：守分次長ほか

4 傍聴者 なし

5 会議概要

- (1) 村手助役あいさつ
- (2) 都市整備局長あいさつ
- (3) 委員紹介
- (4) 部会長・副部会長の選出(委員の互選による)
部会長 千葉喬三 委員
副部会長 上田恭嗣 委員
- (5) 部会長・副部会長あいさつ
- (6) 審議
- (7) その他連絡

6 主な意見

1 岡山市住宅基本計画の策定について

(概要説明)

岡山市住宅基本計画は、平成13年度に作成した「岡山市住宅マスタープラン」について、社会情勢の変化に伴い見直しを計ろうとしているものです。

この計画は9章立ての構成を考えており、1章～4章は基本理念、5章は市民・事業者・行政の役割分担、6章は行政の役割、7章は公的住宅のあり方、8章は今後の住宅行政のメニュー出し、9章はそのメニューの具体的な内容を示します。今回を含めて5回程度ご審議いただきたいと考えており、第1回目の本日は、計画策定について、こういった背景でこの計画を策定することになったかなど、策定のスケジュールについてご説明が中心です。

(質問) 少子・高齢化という世間一般の流れがあるわけですが、岡山市の場合は少子・高齢化になるのかどうか、これからの岡山市がいかにより発展するかによって増える可能性もあるということで、減ると決めつけずに、両論ぐらい考えていないといけないのではないのでしょうか。

(回答) 日本全体として人口減少や高齢化が進んでいるという現状があります。これは、

岡山市においても直視していかなければならない課題となっていくと思いますので、そういったことも考慮したうえで考えていきたいと思っております。

(質問) 中心市街地における住居機能の再生の話は納得できる内容なのですが、郊外についても、集まって住むべきところとそうでないところというのをこれから区別して考えていって、そこにしっかりと交通体系を整備していくというやり方をとるべきではないかと思えます。そういったエリア的な特長とか区別について、この岡山市住宅基本計画の中でどこまで踏み込もうとお考えでしょうか。

(回答) 「中心市街地」という言葉が重要なキーワードと考えておりますので、この資料では特出ししておりますが、地域性をできる限り盛り込めたらと考えています。これは住宅部局だけの話ではなくて、関連部局と歩を進めながらやっていきたいと考えています。

(質問) 上位計画である「岡山市都市ビジョン」との整合性をとっていかれるということですが、逆に岡山市住宅基本計画の方から岡山市都市ビジョンに影響を与えるということもあり得るのでしょうか。

(回答) 本当は、ビジョンの考え方を住宅基本計画の考え方に入れていくのがよいのでしょうけれども、作成時期が重なっているので、お互いの部局間で意見を交換しながら、また、連携しながら進めたいと思っております。

(質問) 国の基本方針が打ち出されてきて、それに合わせて地方自治体も変えていかざるを得ないという流れの中にありますが、国の計画が大きく変わろうとしていることが住宅基本計画策定の契機なのか。それとも、それは言い訳で、実は住宅マスタープランが古くなったから策定するのか。あるいは、ここで新しく都市のあり方を変えていこうとしていて、その中の重要な部分である住宅をやるかというのか。

(回答) 良質な民間住宅が多数流通している中で、国は量から質へと方針転換し、県は公営住宅を見直すと言っています。このタイミングで、住に関する官民の役割を整理した上で、今後の市営住宅の方向を出し、しっかりと将来を見据えた基本計画をつくろうと考えたわけです。

(質問) 予算のこともこの原案の中に組み入れられていくのでしょうか。

(回答) 予算がどうという具体的なところまでは、この基本計画の中では盛り込めないと思っております。後の実施計画の方では、個々の団地の具体的な話が含まれるのではないかと考えております。

(質問) たくさんの方がそこに住んでみたいと思うようなまちにしたいという、大きな意味での計画であるならば、公共交通機関というのは非常に重要な役割を果たしていくし、それぞれの地域におけるまちの役割と、そのまちと他のまちとの役割をどう公共交通機関が結節していくのかということが、そこに住む人の生活という観点から重要だと思えます。

それとも、公営住宅がどうあるべきか、今どんな問題があって、これからどういうふう
に作っていったらいいのだろうとか、どんなリフォームをしたらいいのだろうかとい
うようなところに焦点を絞って結論を導こうとしているのか。どちらに焦点を当ててこ
れからの議論を進めていくのか分かりにくいので教えてください。

(回答) どこに絞って議論するというのではなく、すべてに渡って見直すということ
です。全体を整備しないと、公営住宅の役割は出てこないと考えております。それは、高
齢化対策、子育て支援など、いろいろあると思いますが、私どもが踏み込んだ話をする
とそれで固定化されますので、大きく民のありかたも含め、皆さんに自由に議論してい
ただきたいと考えております。そうすると、官の役割はこういうことでどうか、という
ことになるのではないかと思います。

(その他の意見)

- 市ばかりがやるのではなくて、民間の業者とかとうまい方法を考えて、建て替えだとか
いうことを考えていっていただきたい。
- 人口を増やすためには住宅をどうするかというトーンで多少はやっておくべきだと思
います。
- 岡山市ではどんな暮らしができるのかというのが分かりやすく提案できたらいいと思
います。
- 住み続けたいまち、住まいをどう作るのか。そういう視点から、個々の住まいがどうあ
るべきかというようなことも含まれた報告書があつていいのではないかと思います。
- 住宅と交通というものは切っても切れない生活環境の問題になりますので、こちらの方
も是非、住宅基本計画に取り込んでいただきたい。
- 住宅の場合は半恒久的なものなので、いろいろな施策に左右されずに、長期計画で少な
くとも50年ぐらいのスパンで考えてもらいたい。
- グラウンドデザインをつくってまちづくりをやっていかないといけない。ここが住宅地
域だと決めたならば、行政の援助は必要最小限に抑え、できるだけ民活という形の中で
住宅問題というのは片づくような気がします。